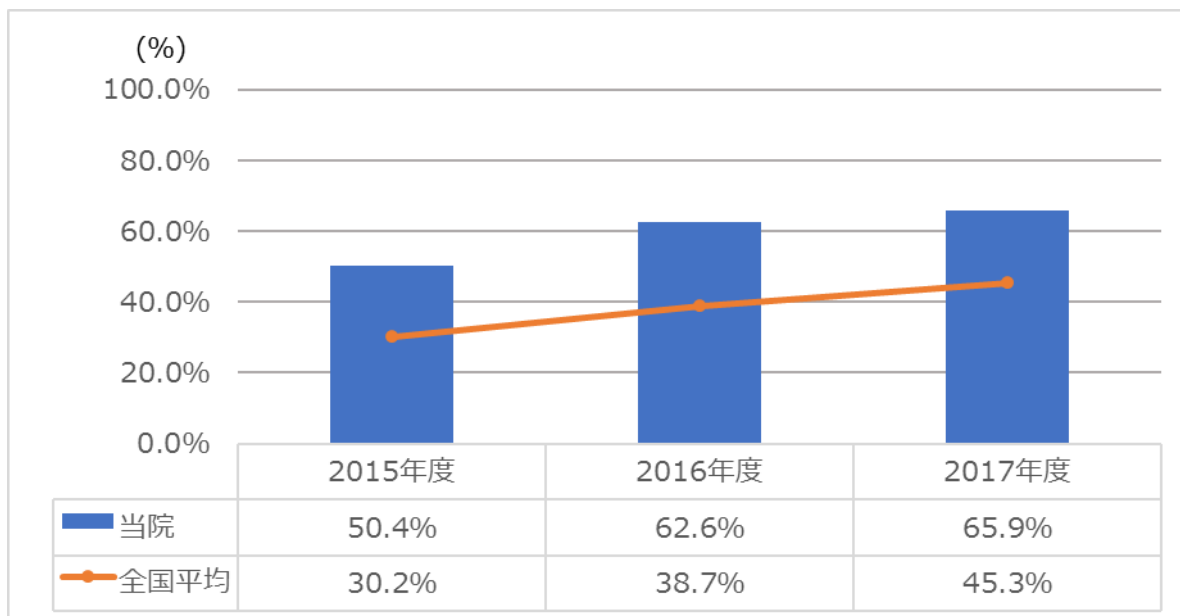


指標 2 5 認知症を伴う症例に対する退院支援の割合



<定義>

分子	： 分母のうち、退院調整を行った症例
分母	： 認知症を伴う入院症例数
期間	： 2015 年度～2017 年度（1 年毎に集計）
対象	： 上記期間の退院患者
値の解釈	： 高い方が望ましい

<解説>

認知症については、長期間の療養を要する症例も多いため、在宅療養に向けた体制づくりを早期から始めることが求められています。

※ 本データは厚生労働省提出用のDPCデータを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院QIP事業】」における「医療の質の指標」の計測結果（事業に参加する全国の病院の平均値）を用いています。

【参考 URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html>（当院のQIP参加について）

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/CI.html>（QIPにおける計測結果）